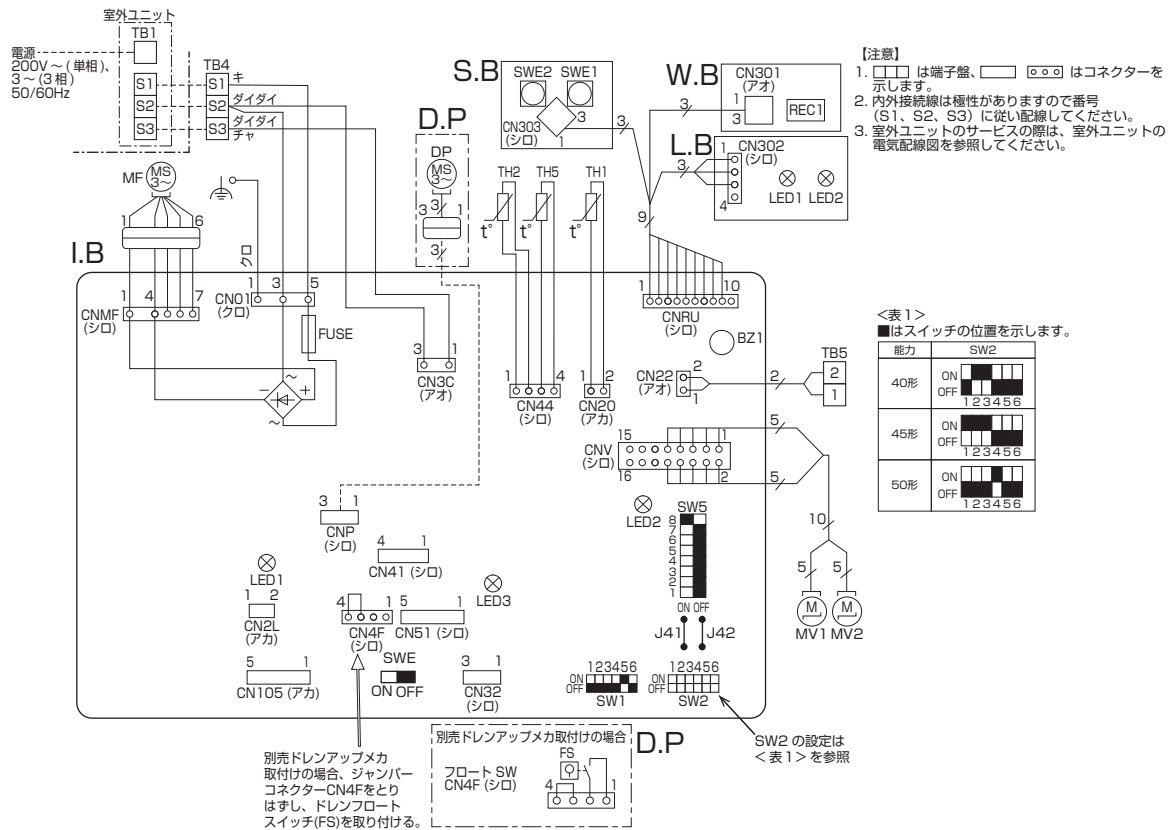


PK-RP40,45,50LA 電気配線図



【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	TB1	端子盤(室外:電源及び内外接続線)
BZ1	ブザー	TB4	端子盤(室内:内外接続線)
CNP	コネクター(別売:ドレンアップメカ)	TB5	端子盤(リモコン伝送線)
CN2L	コネクター(別売:ロスナイ、遠方表示キット)	TH1	サーミスター(室内吸込温度検知) (0°C/15kΩ, 25°C/5.4kΩ)
CN32	コネクター(別売:遠方発停アダプター)	TH2	サーミスター(室内配管(液管)温度検知) (0°C/15kΩ, 25°C/5.4kΩ)
CN41	コネクター(JEMA標準HA端子-A)	TH5	サーミスター(室内配管(二相管)温度検知) (0°C/15kΩ, 25°C/5.4kΩ)
CN4F	ドレンフロートスイッチ(別売ドレンアップメカ)	S.B	応急スイッチ基板
CN51	コネクター(集中管理)	SWE1	応急運転(暖房)
CN105	コネクター	SWE2	応急運転(冷房)
FUSE	ヒューズ(3.15A/250V)	W.B	受光基板
LED1	発光ダイオード(マイコン電源)	REC1	ワイヤレスリモコン受光部
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)	L.B	表示基板
LED3	発光ダイオード(室内外通信)	LED1	発光ダイオード(運転表示:ミドリ)
SW1	スイッチ(機種設定)	LED2	発光ダイオード(暖房準備中表示:オレンジ)
SW2	スイッチ(能力設定<表1>参照)	D.P	別売ドレンアップメカ
SW5	スイッチ(機能設定)	FS	ドレンフロートスイッチ
SWE	スイッチ(通常/応急運転)	DP	ドレンポンプ
MF	送風機用モーター		
MV1	上ベーンモーター		
MV2	下ベーンモーター		

【自己診断】

リモコンによる自己診断方法については技術資料等を参照してください。点検コードと不具合内容は下表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸入センサー異常	PB(Pb)	室内ファンモーター異常
P2	配管(液管)センサー異常	PL	冷媒回路異常
P4	ドレンフロートスイッチコネクター外れ	E0~E5	リモコン-室内ユニット間の通信異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	E6~EF	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常
P6	凍結/過昇保護作動	FB(Fb)	室内制御基板異常
P8	配管温度異常	U*, F*	室外ユニットの不具合
P9	配管(二相管)センサー異常	(*は英数字)	室外ユニットの電気配線図を参照してください
PA	漏水異常(冷媒系)	Fb緑<	

【応急運転】

- リモコンが使えなくなったときは、室内ユニット本体の応急運転スイッチを押すことで、冷房/暖房運転が可能です。冷房または暖房の応急運転を行う場合、室内制御基板上的コネクター(SWE)設定と室外ユニットの応急運転が必要です。室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
- 機器に異常が発生した(3.(1)の場合、室内基板の故障を除く)とき、室内制御基板の応急切換コネクター(SWE)をONに設定すると、室内ユニットの応急運転となります。応急運転中の室内ユニットは以下の運転状態となります。
(1)室内ファン強風運転 (2)ドレンアップメカ運転
- 応急運転を行うときの確認項目と注意事項
(1)以下の場合、応急運転はできません。
・室外ユニットに異常がある場合
・室内送風機に異常がある場合
・自己診断でドレンオーバーフロー保護作動を検知したとき
(2)応急運転は電源復帰による連続運転となります。リモコンでのON/OFFまたは温度等は作動しません。
(3)暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。
(4)冷房応急運転は最長10時間以内とさせていただきます。室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。
(5)応急運転終了後はコネクター設定等を元の状態に戻してください。
(6)応急運転時はベーン動作しないため手動でゆっくり適切な位置に設定してください。

図番

PKRP40LA-DE

副番